

国際文化情報学会実施要項

企画・広報委員会

2016年度国際文化情報学会を以下の要領で実施します。

開催日時：2016年11月26日（土曜日）

12時50分～13時30分 学会総会

13時30分～18時00分 研究発表会

18時10分～20時00分 表彰式 懇親会

場所： 総会：外壕校舎 S405

研究発表：外壕校舎各教室 4F ギャラリー

表彰式・懇親会：さったホール

研究発表部門：

(A) 論文発表：質疑応答を含め30分。

(B) ポスター発表：模造紙1～6枚まで。補助の机をボード前に設置可。審査の都合上、プレゼンテーションにかかる時間は10分以下、時間指定はできない。

(C) 映像作品：質疑応答を含め30分、ただし学部紹介ビデオ本編は10分以下。

(C-1) 一般映像作品

(C-2) 学部紹介ビデオ

(D) インスタレーション、パフォーマンス：一教室を用いて70分。

1、学会発表資格

国際文化情報学会会員。学会員でない発表希望者は国際文化学部専任教員の推薦と学会長の認可を受ければ、当該年度に限り、会員と同等の資格を得ることができる。ただし、学会運営者が招聘するゲスト講師はこの縛りを受けない。また、聴講の制約は設けない。

2、応募締切

11月14日(月曜日)午後3時までに、メールで学部事務 jkokusai@hosei.ac.jp に書式Aの応募フォームと書式Bの発表概要を提出（締め切り厳守）。その際、メールの件名に**部門名、代表者氏名（ゼミ名）**」を必ず明記すること。

3、応募フォーム（書式A）

応募フォームは各自ダウンロードし、必要事項を書き込むこと。

発表教室に必要な設備があるかどうかは教室配分が決まったところで各自確認すること。原則として発表に必要な機材（パソコン、追加のプロジェクター）、器具、小道具などは発表者が揃えること。希望に添えるかどうかわからないが、発表希望教室があれば、それも明記する。ただし、廊下や屋上、トイレなどのスペースは使えない。

4、発表概要（書式 B）

発表概要も、応募フォーム同様、各自ダウンロードし、必要事項を書き込むこと。

ABCD 各部門での応募にあたり、A4 1枚（1200字以内）の発表概要を提出すること。これは学会当日資料として配布する（書式A、Bは必ず一緒に提出すること）。

5、審査

審査は学会当日の発表を見て、行う。論文の審査は学会当日の発表を見た教員二名、学生または院生審査員三名による採点（10点満点）の合計によって、ポスター、映像作品、インスタレーション発表の審査はそれぞれ教員三名、学生または院生審査員四名の採点（10点満点）の合計によって、最優秀賞1件、奨励賞2件を決定する。また審査とは別に一般参加者に対し、アンケートも実施する。

6、表彰

A,B,C(1,2),Dの部門ごとに最優秀賞1点（現金2万円）、次点に奨励賞2点（現金1万円）を贈る。ただし、A部門の論文発表については学部学生と院生の二部門に区分し、Cも1、2の二部門に分け、それぞれに賞を贈り、教員および外部参加者は除外する。

同点で最優秀賞が2件以上、奨励賞が3件以上出た場合、教員の採点が高い順位で決定する。それでも差がつかない場合、同点の両者に該当の賞を与える。ただし、最優秀賞が2件でた場合、奨励賞は1件とする。応募が3点以下の場合は最優秀賞1点のみとする。受賞者に対して、点数を発表する。

学会終了後、講評を確認したい場合は11月30日（水）までに学部事務へメールで連絡すること。講評は12月7日（水）までにフィードバックを行います。

7、制作補助

B部門の発表については1万円、C,D部門の発表については、3万円までの制作費を実費で支給する。制作にかかった費用のリストに領収証を添えて、11月30日（水）までに学部事務に提出すれば、企画・広報委員が審査し、妥当と思われる金額を支給する。

8、『異文化』への掲載

学会終了後に発表の成果報告を加えて改稿した発表概要を『異文化』に学会報告として掲載する。また、最優秀賞受賞作は『異文化』に掲載する。発表概要の改稿は『異文化』の締切に間に合わせる。パフォーマンスや映像作品に関しては、誌面に掲載可能な形態のものに限る。